

XBRLデータの作成に当たっての注意事項

平成20年7月2日

対象とするEDINETタクソノミ：2008-02-01版

※本注意事項は随時更新されますので、XBRLデータを作成する際には常に最新の情報を確認いただけますようお願いいたします。

NO	公開日	業種等	対象	分類	現状のEDINETタクソノミの設定 よった場合の問題点	実現されるべき結果	XBRLデータ作成時の対処方法	今後のEDINETタクソノミ等の改修予定
1	平成20年7月2日	高速道路事業	中間連結貸借対照表	表示リンク	パターン別リンクベースファイル「繰延資産を科目別に掲記する方法」を選択した場合にのみ出現するべき「繰延資産、タイトル項目」及びその下の階層の「道路建設関係社債発行費」「その他の社債発行費」が、当該パターン別リンクベースファイルを選択する前において、「貸借対照表、タイトル項目」と同じ最上位の階層及びその下の階層に誤って表示される。	「繰延資産、タイトル項目」及びその下の階層の「道路建設関係社債発行費」「その他の社債発行費」は、パターン別リンクベースファイル「繰延資産を科目別に掲記する方法」を選択した場合にのみ、「固定資産、タイトル項目」と同じ階層及びその下の階層に表示されるべきである。	繰延資産を科目別に掲記する場合は、パターン別リンクベースファイル「繰延資産を科目別に掲記する方法」を選択すると、「繰延資産、タイトル項目」及びその下の階層の「道路建設関係社債発行費」「その他の社債発行費」が正しい位置（「固定資産、タイトル項目」と同じ階層及びその下の階層）に表示されます。そのまま科目別の金額を入力してください。 繰延資産を一括して掲記する場合は、パターン別リンクベースファイル「繰延資産を一括して掲記する方法」を選択すると、 1. 「繰延資産」が正しい位置（「固定資産、タイトル項目」と同じ階層）に表示されると共に、 2. 「繰延資産、タイトル項目」及びその下の階層の「道路建設関係社債発行費」「その他の社債発行費」が、誤った位置（「貸借対照表、タイトル項目」と同じ最上位の階層及びその下の階層）に表示されたままとなります。 上記1. の正しい位置の「繰延資産」にのみ、一括掲記の金額を入力してください。「繰延資産、タイトル項目」及びその下の階層の「道路建設関係社債発行費」「その他の社債発行費」については、金額を入力しないことにより最終の財務諸表としては表示されませんので、表示位置を修正する必要はありません。 繰延資産を掲記しない場合は、パターン別リンクベースファイルを選択しないため、「繰延資産、タイトル項目」及びその下の階層の「道路建設関係社債発行費」「その他の社債発行費」が誤った位置に表示されたままとなりますが、金額を入力しないことにより最終の財務諸表としては表示されませんので、表示位置を修正する必要はありません。	「道路建設関係社債発行費」「その他の社債発行費」の表示リンク及び計算リンクに関する設定を変更し、パターン別リンクベースファイル「繰延資産を科目別に掲記する方法」を選択した場合にのみ表示されるよう修正する予定です。
2	平成20年7月2日	電気事業	四半期損益計算書 四半期連結損益計算書	名称リンク	四半期損益計算書及び四半期連結損益計算書において「経常収益合計」「経常費用合計」が、それぞれ「四半期経常収益合計、電気事業」「四半期経常費用合計、電気事業」と誤って表示される。	それぞれ「四半期経常収益合計」「四半期経常費用合計」と表示されるべきである。	それぞれの科目（要素名「OrdinaryRevenueELE」「OrdinaryExpensesELE」）のpreferredLabel属性の設定を削除することにより「四半期経常収益合計」「四半期経常費用合計」と表示されます。	①要素「OrdinaryRevenueELE」、「OrdinaryExpensesELE」の四半期連結財務諸表及び四半期財務諸表における合計ラベルを「四半期経常収益合計」、「四半期経常費用合計」と、それぞれ修正する予定です。 ②要素「OrdinaryRevenueELE」、「OrdinaryExpensesELE」の中間連結財務諸表、中間財務諸表における標準ラベルを「中間経常収益」、「中間経常費用」と、四半期連結財務諸表及び四半期財務諸表における標準ラベルを「四半期経常収益」、「四半期経常費用」と、それぞれ修正する予定です。
3	平成20年7月2日	建設保証業	連結損益計算書 中間連結損益計算書	表示リンク	連結損益計算書及び中間連結損益計算書において「営業利益」が「営業費用、タイトル項目」の下の階層に誤って表示される。	「営業利益」は「損益計算書」の下の階層で、表示順は「営業費用、タイトル項目」の次となるべきである。	「営業利益」の表示リンクを上書きし、「損益計算書」の下の階層で「営業費用、タイトル項目」の次に表示されるよう表示位置を修正してください。なお表示リンクの上書きの詳細については、「企業別タクソノミ作成ガイドライン」(P58、9-4表示リンクの上書き)をご参照ください。	連結損益計算書及び中間連結損益計算書において「営業利益」の表示場所を左記のとおり修正する予定です。

4	平成20年7月2日	電気通信事業	貸借対照表 連結貸借対照表 中間貸借対照表 中間連結貸借対照表 四半期貸借対照表 四半期連結貸借対照表	B群勘定科目	附帯事業固定資産の内訳における有形固定資産に関して、「有形固定資産、附帯事業固定資産、タイトル項目、電気通信事業」、「有形固定資産、附帯事業固定資産、電気通信事業」（純額項目）、「減価償却累計額、有形固定資産、附帯事業固定資産、電気通信事業」の項目が用意されている。しかし、有形固定資産、附帯事業固定資産（総額項目）に相当する項目がないため、「減価償却累計額、有形固定資産、附帯事業固定資産、電気通信事業」を使用した表示設定ができない。	有形固定資産の総額項目に相当する項目が用意され、次のような表示設定を可能とすべきである。 有形固定資産、附帯事業固定資産、タイトル項目 <input type="checkbox"/> 有形固定資産（総額項目） <input type="checkbox"/> 減価償却累計額 <input type="checkbox"/> 有形固定資産（純額項目）	以下の項目をタクソノミに追加し、表示リンク、計算リンクおよび定義リンクに設定し、使用してください。 要素名：「PropertyPlantAndEquipmentGrossNCAIncidentalELC」 標準ラベル：「有形固定資産」 冗長ラベル・ドキュメンテーション：「有形固定資産（総額）、附帯事業固定資産、電気通信事業」 標準ラベル（英語）：「Property, plant and equipment, gross」 冗長ラベル・ドキュメンテーション（英語）：「Property, plant and equipment, gross-NCA-incidenta-ELC」	電気通信事業のB群勘定科目として左記の設定により項目を追加する予定です。
---	-----------	--------	--	--------	--	--	---	--------------------------------------